第9期介護保険事業計画の「取組と目標」にかかる評価 (初期評価・最終報告)

4.【西ノ島町】

		(1)取組と目標	(2)自己評価			運営協議会		
テーマ	現状と課題	第9期における具体的な取組	目標(事業内容・指標等)	計画における参照箇所	実施内容	自己評価結果	課題と対応策	評価
	認知症予防としての役割も果たすものとなっているが、参加者の固定化や高齢化、介護度の重度化により参加者が減る傾向にある。引き続き、役場、病院、コーディネーター等と連携し、今後は高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施について取り組んでいく。	②短期集中通所リハビリテーションの実施 ③要支援者の生活援助の見直し ④まめな体操の活動支援及び評価	65歳以上の町民の自立支援、介護 予防重度化防止のために、体制づ くりに取り組んでいく。 ・生活習慣病予防・介護予防・重度 化防止を推進していくために、高齢	点施策 1. 自立支援、介護予防・重度化防 止の推進	① 個別:40/回、集団:6回 ②2クール6名で予算計上。1クール終了と母を業、11月から2クール目で3名を選定し実施した。年間7名で実施することができた。 ③要支援のケアマネ及び、事業所とで令和7年1月14日に実施。11名について協議し、7名の訪問回数を減らしたり、内容の見直しを行った。 ④今年度も各地区での評価を島前病院実施をしたが、3地区の計算にといいでは5地区実施をしたが、3地区の計算にといいて毎度内の予定が合わず年度を跨いでの結果返しとなった。 ⑤-1 健康サロンに併せで健康相談・父子の意識やニースを実施を上が、概ね計画通りに実施することができた。 高齢者の保健事業と介護予防の一体的取組のポピュレーションアプに医師、リハビリを講師を実施。9-2 高齢者の保健事業と介護予防の一手として健康教室を実施。6一月折下医師、リハビリを関測定を実施。7年時間の時間をとする計画だったが、天候不良等の関係とで変にある。第一日、リハビリを関測定を実施。7年時間の時間をとなった。第一本的取組のポピュレーションアプに医師、リハビリを関測定を実施。7年時間の中半をとて変にあることができた。	【A】 短期集中通所リハビリテーション以外については、例年通りの活動に取り組むことができた。②7名卒業後、総合事業部分の継続利用は1名のみとなっている。 概ね計画通りに取り組んでいる。	特になし。	A
	体制が整備され、3法人、隠岐島前病院、行政が連携できていることで9割の西ノ島町民が住み慣れた地域で最期まで生活することができている。引き続き地域ケア推進会議、地域ケア個別会議を定期的に開催し、課題把握とその解決に取り組んでいくことと、地域包括ケアシステムを支える人材の確保に努めていく。	②地域包括ケアシステムを支える人材の確保 ②-1 特定技能外国人材の受け入れ ②-2 福祉体験交流事業 ②-3 福祉職場体験等旅費支援 ②-4 福祉職員等確保対策 ②-5 西ノ島町福祉介護人材確保・定着促進事業 ②-6 西ノ島町奨学資金の貸与	会議を定例的に開催し、本町の課題把握とその解決に取り組んでいく。 ・今後も住み慣れた地域で最期まで生活することができる環境を維持するために、地域包括ケアシステムを支える人材の確保に取り組んでいく。	点施策 2. 地域包括ケアを支える機能の強 化	①-1 第3週火曜日に定例開催を行っている。 ①-2 第2、第4火曜日に定例開催を行っている。 ②-1 (福)西ノ島福祉会に調理員1名、介護職員2名の受け入れを行った。 ②-2 2名の受け入れを行った。 ②-3 2名に対し補助を行った。 ②-4 今年度末から来年度初めにかけて島内に2名の介護職の就職予定がある。 ②-5 県補助を活用し、2法人の研修旅費等の補助を行った。 ②-6 継続実施をしている。		【課題】 ②-5 県補助を活用しているので島根県の補助がなくなった際には事業継続に支障が出る。 【対応策】 ②-5 広域連合としても引き続き活用し、県事業の継続の必要性を伝えてもらいたい。	Α

(1)取組と目標					(2)自己評価			
テーマ	現状と課題	第9期における具体的な取組	目標(事業内容・指標等)	計画における参照箇所	実施内容	自己評価結果	課題と対応策	」運営協議会 評価
3.安心して暮らせる町づくり	第8期期間においてが地域とのつは、 がりや生きがいを持ちで講演会を地域といるがりや生きがいるないでを持ちではでかいでなりではでいては、 でいく大切さについて団体及び地域生まれついるがりで、大切では、 でいく大切さについて団体及び地域生まれつつまり、今後どうる。 ということが課題で生きるも地域の整備とそれを支え続きでいる。 では、できるも地域である。 では、できるも地域である。 では、できるも地域ででは、 では、できる地域のでは、 では、できる地域のでは、 をでかり、 では、ででは、 をでは、 をでは、 をでは、 をでいてにないないでは、 をでは、 をでいてにないないないでは、 についてにでいるがいるがいる。 にでいてにないる。 にでいてにないる。 にでいてにないる。 にでいているがあまれていてにない。 にでは、 にでいていている。 にでいている。 にでいている。 にでいている。 にでいている。 にのからでいている。 にのがいていている。 にのがいる。 にのがいたがいる。 にのがいる。 に	① 生活支援体制の強化 ①-1 生活支援体制の強化 ①-1 生活支援コーディネーターとの連携 ①-2 互助力の強化 ①-3 見守り支援体制の構築 ①-4 地域活動団体等の活性化支援 ①-5 法人連絡会及び日向喫茶の支援 ② 在宅医療・介護連携の推進 ②-1 在完優療・介護連携に関する各種会議の継続 ②-2 地域ケア推進会議の継続 ②-3 入退院連携の推進 ③認知症施策の推進 ③記知症施策の推進 ③-1 認知症地域推進 ③-1 認知症地域推進 ③-1 認知症地域推進 ③-1 認知症地域推進 ③-1 認知症地域推進 ③-1 認知症地域性進 ③-1 認知症地域性進 ③-1 認知症地域性進 ③-1 認知症地域性進 ③-2 家族介護者の集い ③-4 初期集中支援チームの強化 ④高齢者の権利擁護体制の強化 ④-1 成年後見制度利用支援 ④-2 高少ディングノートの作成及び普及啓発	・認知症や医療・介護が必要な状態になっても、尊厳とか希望を持ち、住民団士が支え合いながら住み慣れた地域で自分らしい人生を最後まを推進していく。 ・高齢者が最後まで住み慣れた境(住まい)整備を推進するとともできるように、生るとともでも、質害における避難体を関係を推進し、災害時における避難体を関係を推進し、切な避難行動をとり、誰一している。 ①-1 社会資源の把握、地域診断①-2 地域応援隊事業①-3 ICTを活用した見守り支援①-4 地域応援所取出を等への助成金及び情報提供①-5 法人連絡会及び日向喫茶の開催②-1 医療福祉関係者との地域ケア推進会議12回/年地域ケア個別会義義24回/年地域ケア個別会義義24回/年サービス担当会議随時②-2 12回/年	第1節 西ノ島町としての課題と重点施策 3. 安心して暮らせる町づくり 50~53ページ		【A】 ② 困難事例について深堀が出来でいないという課題については、自立支援型の地域ケア会議を12月3日に開催し、概ね計画通りに取り組んでいる。	【課題】	A